2-318-613-**03** (1)

パーソナル コンポーネントシステム

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

この取扱説明書は、本体の操作を説明しています。付属のソフトウェアSonicStageの操作については、別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

Atrac CD

CMT-A50

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4〜8ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

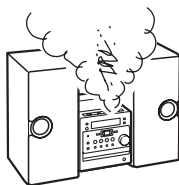
定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネット、電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

1. **電源を切る**
2. **電源プラグをコンセントから抜く**
3. **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

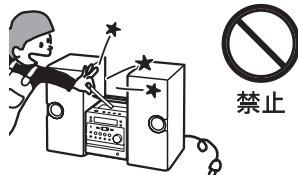
目次

⚠警告

火災
感電

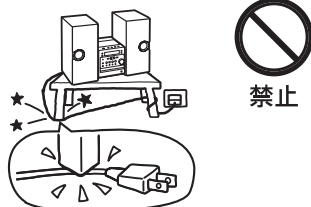
下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

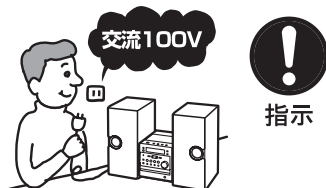
- 加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

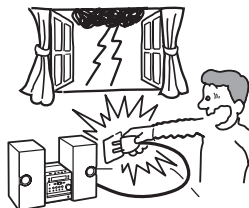
火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

火災
感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

接触禁止

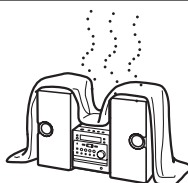
ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

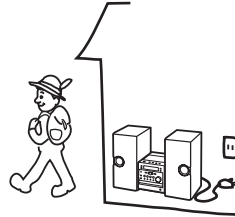
禁止

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

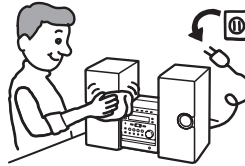
内部を開けない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

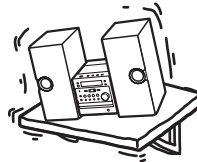
分解禁止

移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。
また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

禁止

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

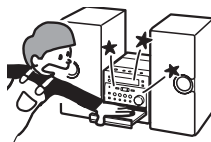
大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

禁止

幼児の手の届かない場所に置く

CDトレイなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

禁止

円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、ディスクが内部に落ち故障の原因となったり、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ•破裂•発熱•発火•誤飲による**大けが**や**失明**を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠危険　乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

付属のソフトウェアについて

□権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
□本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
□万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
□本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
□本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
□本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。

- SonicStageおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plusおよびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
  なお、本文中では™、®マークは明記していません。

録音についてのご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データ内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、となり近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ATRAC CDを作って楽しもう

本機では、通常の音楽CDに加えて、付属のSonicStage（ソニックステージ）ソフトウェアを使ってパソコンで作成したオリジナルのCD（ATRAC CDと呼ぶ）を再生できます。SonicStageを使うと、音楽CD約30枚分*の曲を1枚のCD-RまたはCD-RWに記録できます。ATRAC CDに入れた音楽を聞くまでの流れは以下のとおりです。

SonicStageをパソコンにインストールする

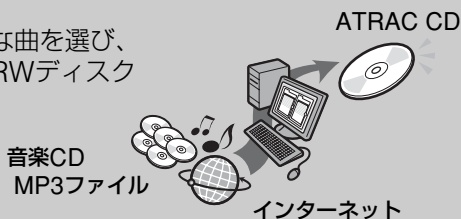
SonicStageは、音楽CDやインターネットから音楽をパソコンに取り込んで、オリジナルのCDを作るソフトウェアです。付属のCD-ROMからインストールします。

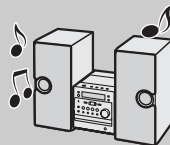
ATRAC CDを作る

パソコンに取り込んだ音楽から好きな曲を選び、SonicStageを使って、CD-R/CD-RWディスクに書き込みます。

ATRAC CD

音楽CD
MP3ファイル

インターネット

CDプレーヤー（本機）で聞く

たくさんの曲が入ったオリジナルのCDを、手軽に楽しめます。

SonicStageのインストール方法やATRAC CDの作りかたは、付属の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

* 700MB（メガバイト）のCD-R/CD-RWディスクに、1枚あたり約60分の音楽CDをATRAC3plus、48kbpsで記録したときの換算です。

本機で再生できるディスクは？

音楽 CD:
CDDA フォーマット

CDDAは、Compact（コンパクト） Disc（ディスク） Digital（デジタル） Audio（オーディオ）の略で、一般音楽CDの規格です。

ATRAC CD:
SonicStageを使ってATRAC3plus（アトラックスリープラス）*やATRAC3（アトラックスリー）*フォーマットの音声データを記録したCD-R/CD-RWディスク**

ATRAC3は、Adaptive（アダプティブ） Transform（トランスフォーム） Acoustic Coding3（アコースティックコーディングスリー）の略で、高音質と高圧縮を両立させた音声圧縮技術です。ATRAC3plusは、ATRAC3をさらに発展させ、音声データをCDの約20分の1（ビットレートが64 kbpsのとき）に圧縮する音声圧縮技術です。

ATRAC CDは、SonicStageで作成できます。

MP3 CD:
SonicStage以外のソフトウェアを使ってMP3フォーマットの音声データを記録したCD-R/CD-RWディスク**

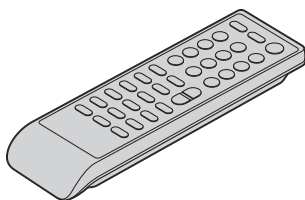
MP3は、MPEG-1 Audio Layer3の略で、音声データをCDの約10分の1に圧縮する音声圧縮技術です。

SonicStage以外のソフトウェアを併用し、ATRAC3plusやATRAC3、MP3の音声データを混在して記録したCD-R/CD-RWも再生できます。
SonicStageでは、音声データの種類が混在したディスクを作ることはできません。

*　ATRAC3plusとATRAC3はソニー株式会社の商標です。
** ISO 9660 Level 1/2形式とJoliet拡張形式でフォーマット済みのディスク。

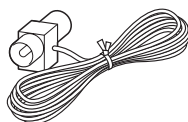
著作権保護技術付音楽ディスクについて
本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。

DualDiscについて
DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。尚、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証致しません。

付属品を確かめる

●リモコン

●単4形乾電池（リモコン用）

●AMループアンテナ

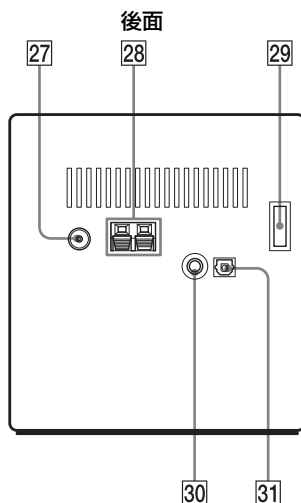
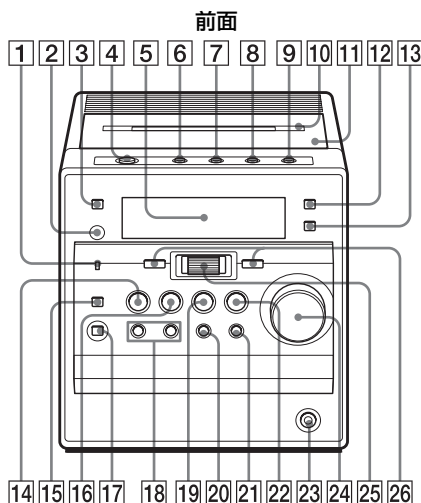
●FMアンテナ

●CD-ROM（SonicStage）
●CMT-A50取扱説明書・保証書
●ソフトウェア　インストール・操作ガイド
●カスタマー登録のご案内
●ソニーご相談窓口のご案内

この取扱説明書について

この取扱説明書では、本体での操作を中心に説明しています。リモコンでの操作のしかたは、本体と違う場合に明記してあります。
「各部のなまえ」（13～17ページ）も併せてご覧ください。

各部のなまえ

くわしい説明は（　）内のページをご覧ください。

本体

1 STANDBY（スタンバイ）ランプ
電源OFF時に点灯します。

2 リモコン受光部

3 FUNCTION（ファンクション）ボタン
音源の切り替えに使います。
押すたびに「CD」、「TAPE」
「TUNER」、「LINE」が切り替わります。

4 I/⏻（電源）スイッチ

5 表示窓

6 SLEEP（スリープ）ボタン
音楽を聞きながら眠るときに使います（48）。

7 STANDBY（スタンバイ）ボタン
タイマーの予約をするときに使います（45～47）。

8 CLOCK（クロック）ボタン
時計の設定に使います（20）。

9 TIMER（タイマー）ボタン
タイマーの設定に使います（45、47）。

10 カセットぶた

11 ⏏PUSH OPEN/CLOSE（プッシュ オープン クローズ）
カセットぶたを開閉するときに押します。

12 DISPLAY（ディスプレイ）（表示切り換え）ボタン
表示窓の情報を切り換えます（21, 33、40）。

13 SOUND（サウンド）ボタン
5種類から好きな音質を選びます（44）。

14 CD▶❚❚（再生／一時停止）ボタン*

15 MODE/DIR（モード ディレクション）ボタン
CD：再生方法（プレイモード）を切り換えます（32、36～40）。
テープ：走行のしかた（ディレクションモード）を切り換えます（29、31、47）。
ラジオ：モノラル、ステレオなど音声の受信状態を切り換えます（27、32）。

次のページへつづく

各部のなまえ（つづき）

16 TAPE◀▶（再生）ボタン*

17 ⏏OPEN/CLOSEボタン
CDトレイを開閉します。

18 ⏮/◀◀、▶▶/⏭（AMS/サーチ）•PRESET +/–ボタン
CD：曲の頭出しをします。
再生中または一時停止中にボタンを押し続けると、曲中の好きなところを探すことができます（34）。
テープ：早送り/早戻しをします。
ラジオ：放送局を記憶（プリセット）させます（42）。
プリセットした放送局を呼び出します(43)。

19 TUNER BAND•AUTO PRESETボタン
押すと自動的にラジオの電源が入ります。FM (TV)またはAMに切り換えます。

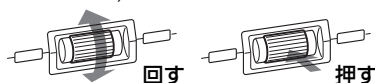
20 REPEATボタン
選んだプレイモードを繰り返し再生します（40）。

21 RECボタン
CDからテープへ録音を行います（31、32、51）。

22 STOP■（停止）ボタン

23 🎧 端子
ヘッドホン（別売り）を接続します。

24 VOLUME（音量）つまみ

25 ジョグダイヤル（PUSH ENTER/MEMORY)

回す：曲を選んだり、設定画面の項目を選びます（20、21、35、38〜41、45、47）。
押す：選んだ内容を決定します（20、21、35、38〜42、45、47）。

26 🗀/TUNING +/–ボタン
🗀+/–：CDの再生中にグループを選びます（24、36、39）。
TUNING +/–：放送局を選びます（26、42）。
タイマーの設定変更をします（46、47）

27 FMアンテナ端子（18）

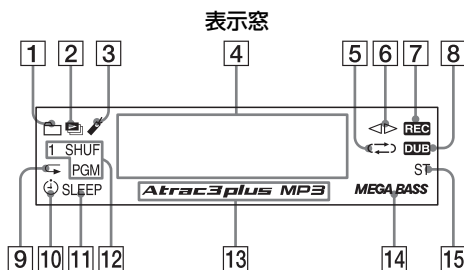
28 AMアンテナ端子（18）

29 SPEAKER OUT(POWER IN)端子
付属のスピーカーから電源を供給します（18、19）。

30 LINE IN端子
テレビやビデオなどの機器をつなぎます(50)。

31 OPTICAL DIGITAL OUT (CD)端子
CDをMDやDATに光デジタル出力で録音するときにつなぎます（50）。

* ボタンの斜め上に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

表示窓

1 プレイモード表示（グループ再生）（36）

2 プレイモード表示（プレイリスト）（36、38）

3 プレイモード表示（ブックマーク）（36～38）

4 文字情報表示部

5 ディレクションモード表示
テープの走行のしかたを表示します（29、31、47）。

6 テープ走行表示（29、31）

7 REC（レコーディング）表示
録音中や録音タイマーを設定したときに表示されます（31、47、48）。

8 DUB表示
CDの停止状態から録音を開始するときに表示されます（31、32）。

9 （リピート）表示
リピート再生中に表示されます（40）。

10 タイマー動作中表示
タイマーを設定した時刻になると表示されます（45～48）。

11 SLEEP（スリープ）表示
スリープタイマーが動作中に表示されます（48）。

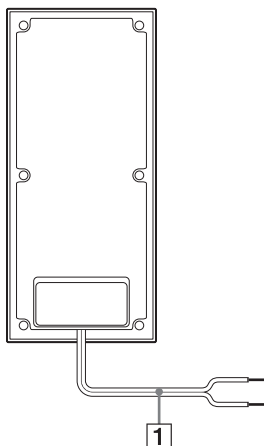
12 プレイモード表示（1曲再生、シャッフル、プログラム）（36、37、39）

13 MP3/ATRAC3plus表示
CDの種類が表示されます。

14 MEGA BASS表示（44）

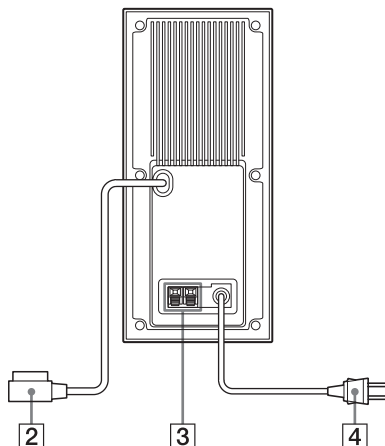
15 ST（ステレオ）表示（26）

次のページへつづく

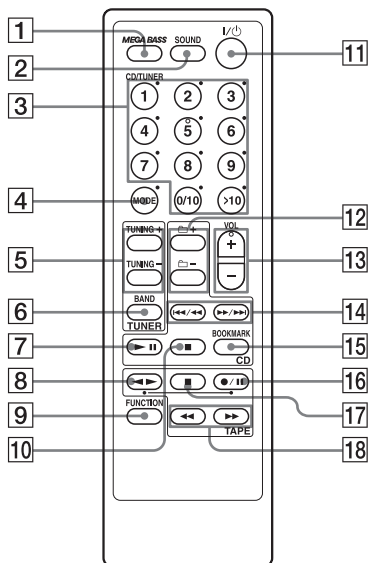
スピーカー

右スピーカー後面

左スピーカー後面

1 スピーカーコード
左スピーカーのSPEAKER OUT端子に接続します（18）。

2 接続コード
本体のSPEAKER OUT (POWER IN)端子に接続します（18、19）。

3 SPEAKER OUT端子
右スピーカーのスピーカーコードを接続します（18）。

4 電源プラグ
壁のコンセントにつなぎます（19）。

リモコン

1 MEGA BASSボタン（44）

サウンド
2 SOUNDボタン
5種類から好きな音質を選びます（44）。

3 数字ボタン
CDのダイレクト選曲、ラジオのプリセット設定、プリセット呼び出しに使います（34、39、42、43）。

モード
4 MODEボタン
CD：再生方法（プレイモード）を切り換えます（36～40）。
テープ：走行のしかた（ディレクションモード）を切り換えます（29、31、47）。

チューニング
5 TUNING＋、－ボタン
放送局を選びます（26、42）。

チューナー　バンド
6 TUNER BANDボタン
押すと自動的にラジオの電源が入ります。FM (TV)またはAMに切り換えます。

7 ►II（再生／一時停止）ボタン
CDの再生／一時停止をします。

8 ◄►（再生）ボタン
TAPEの 再生をします。

ファンクション
9 FUNCTIONボタン
音源の切り替えに使います。
押すたびに「CD」、「TAPE」、「TUNER」、「LINE」が切り替わります。

10 ■（停止）ボタン
CDの動作を停止します。

11 I/⏻（電源）ボタン

12 🗀+、🗀–ボタン
ATRAC CDやMP3 CDのグループを選びます（24、36、39）。

ボリューム
13 VOL（音量）＋*、－ボタン

14 |◄◄/◄◄、►►/►►|（AMS/サーチ）ボタン
CDの曲の頭出しをします（24）。
再生中または一時停止中にボタンを押し続けると、曲中の好きなところを探すことができます（34）。

ブック　マーク
15 BOOKMARKボタン
CDのお気に入りの曲にブックマーク（しおり）をつけたり消したりします（37、38）。

16 ●/II（録音／一時停止）ボタン
テープに録音／一時停止をします。

17 ■（停止）ボタン
テープの動作を停止します。

18 ◄◄、►►ボタン
テープの早送り/早戻しをします（29）。

* 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

接続する

コードはしっかり差し込んでください。間違った接続は誤動作の原因になります。

2 FM ANTENNA端子へ

2 AM ANTENNA端子へ

FM アンテナ

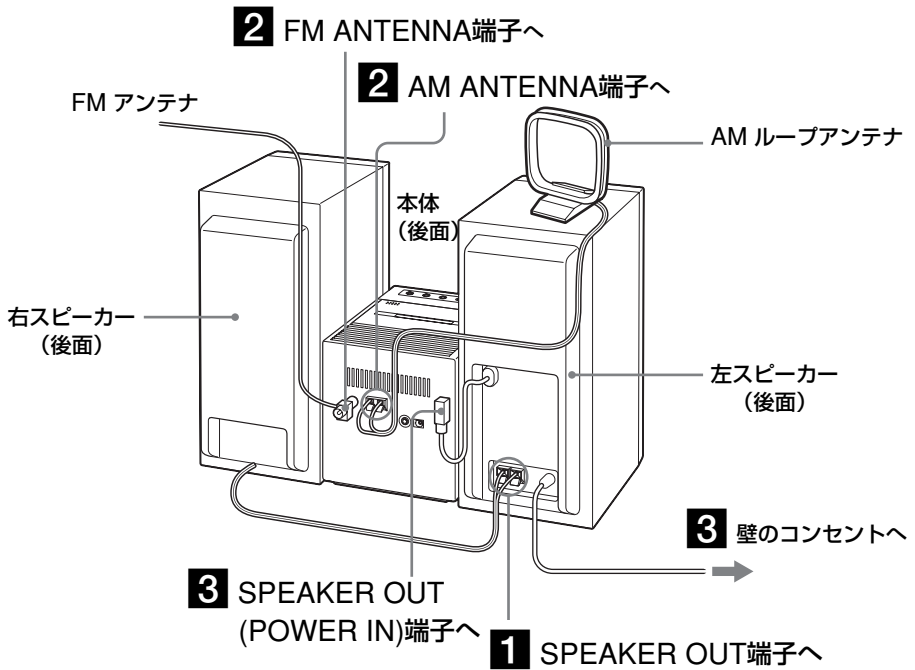
AM ループアンテナ

本体
（後面）

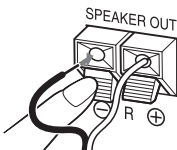
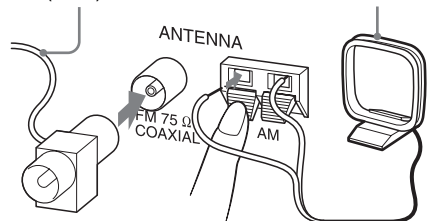
右スピーカー
（後面）

左スピーカー
（後面）

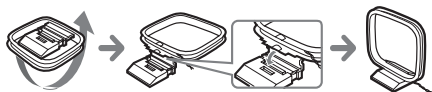
3 壁のコンセントへ

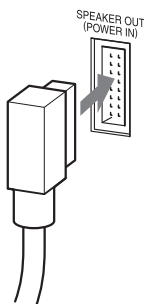
3 SPEAKER OUT
(POWER IN)端子へ

1 SPEAKER OUT端子へ

1 スピーカーを接続する

右のスピーカーから出ているスピーカーコードを、左のスピーカーのSPEAKER OUT端子に接続する。

2 アンテナを本体に接続する

* アンテナはできるだけ水平に伸ばす。

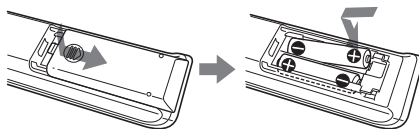
** ループアンテナを最も受信状態の良い方向へ向ける。

AMループアンテナを組み立てる

3 電源コードを接続する

1 左のスピーカーから出ている接続コードを本体のSPEAKER OUT (POWER IN)端子に接続する。

2 左のスピーカーから出ている電源コードのプラグを壁のコンセントへつなぐ。

ご注意

電源コードを抜いたり停電があった場合は、記憶させた時計やタイマーなどの内容が消えることがあります。その場合は、それぞれ設定し直してください。

リモコンに乾電池を入れる

単4形乾電池2個（付属）

電池の交換について

乾電池が消耗してくると、リモコンで操作できる距離が短くなります。乾電池をすべて新しいものと交換してください。ふつうの使いかたで約6か月もちます。

ご注意

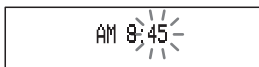
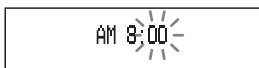
リモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。

時計を合わせる

本機の時計表示は、時計を合わせるまで「– –:– –」のままです。

1 時刻の数字が点滅するまで、CLOCKボタンを押したままにする。

2 時刻を合わせる。

① ジョグダイヤルを回して「時」を合わせ、ジョグダイヤルを押します。
② ジョグダイヤルを回して「分」を合わせます。

3 ジョグダイヤルを押す。

00秒から時計が動きます。

現在の時刻を表示する

CLOCKボタンを押します。
元の表示に戻すには、もう1回押します。

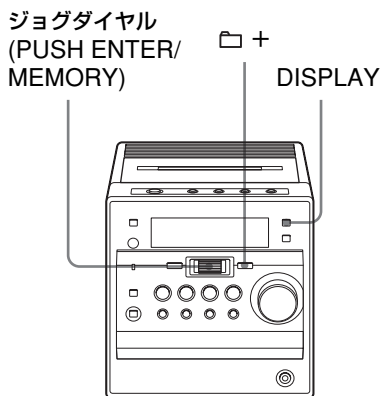
ご注意

電源コードを抜くと時計の表示が「– –:– –」に戻る場合があります。その場合はもう一度時計を合わせ直してください。

ちょっと一言

本機の時計は12時間表示です。
真夜中 :「AM12:00」
正午　 :「PM12:00」

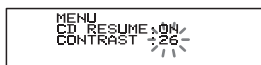
表示窓のコントラストを調節する

表示窓のコントラストをお好みに合わせて調節できます。

1 **電源を切った状態でDISPLAYボタンを押す。**

MENU
CD RESUME :ON
CONTRAST :26

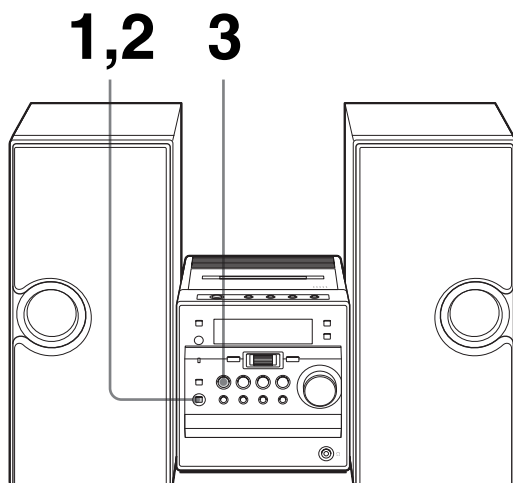
MENU画面が表示されます。

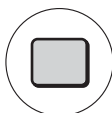
2 **ジョグダイヤルまたは🗀 +ボタンを押して「CONTRAST」を選ぶ。**

コントラストの数値が点滅します。

3 **画面を見ながら、ジョグダイヤルを回してコントラストの数値を選ぶ。**

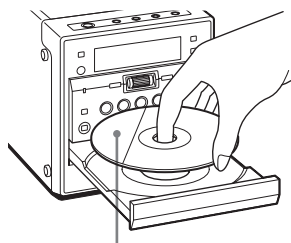
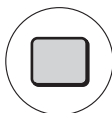
コントラストの強弱を1～32の範囲で調節できます。

4 **ジョグダイヤルを押して決定する。**

CDを聞く

準備➡「接続する」（18、19ページ）をご覧ください。

1

≜OPEN/CLOSEを押してCDをCDトレイにのせる。

文字のある面を上に

2

≜OPEN/CLOSEを押してCDトレイを閉める。

3

CD►II（リモコンでは►II）ボタンを押す。

再生が始まります。

表示窓

音楽CD

曲名*

01　00:02

曲番　曲の再生経過時間

ATRAC CD/MP3 CD

グループ名またはアルバム名、曲名**

@:Balloon
♫:ardor
001　000:02
Atrac3plus

曲番　曲の再生経過時間

ATRAC またはMP3表示

* CD-TEXTなど文字情報の入っているCDを演奏すると曲名が表示されます。

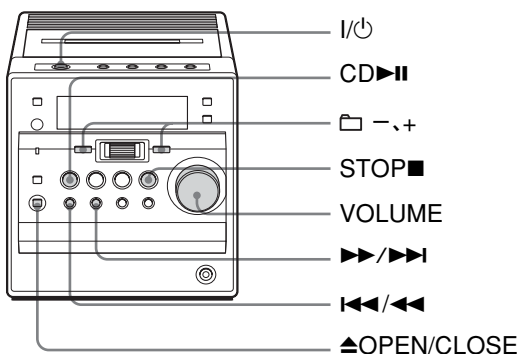
** 表示について詳しくは、33ページをご覧ください。

ご注意

本機はCDを再生する前に、CDに記録されているグループとファイルの全情報を読み込みます。読み込み中は「Reading」が表示され、内容によっては読み込みに時間がかかる場合があります。

ちょっと一言

- ヘッドホンで聞くには、ヘッドホンを🎧端子につなぎます。
- CDの再生を一度止めても、次にCD►IIボタンを押すと、止めたところから再生が始まります（リジューム再生ON）。停止中にSTOP■ボタンをもう一度押すと、次の再生はCDの1曲目から始まります。リジューム再生を解除するには、40ページをご覧ください。

その他の操作

こんなときは	操作
音量を調節する	VOLUMEつまみを回す。（リモコンではVOL +*1、−ボタンを押す。）
再生を止める	STOP■（リモコンでは■）ボタンを押す。

*1 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

次のページへつづく

こんなときは	操作
再生中に一時停止する	CD▶II*[1]（リモコンでは▶II）ボタンを押す。 再生中の曲の再生時間が点滅する。 もう一度押すと再生が始まる。
次の曲へ進む	▶▶/▶▶Iボタンを短くポンと押す。
曲の頭に戻す 前の曲へ戻す	I◀◀/◀◀ボタンを短くポンと押す。
次のグループに進む*[2]	🗀 +ボタンを押す。
前のグループに戻す*[2]	🗀 –ボタンを押す。
CDを取り出す	⏏OPEN/CLOSEを押す*[3]。
電源を入/切する	I/⏻ボタンを押す。

*[1] 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
*[2] ATRAC CDまたはMP3 CDのみ
*[3] CDトレイを開けると、次の再生は1曲目から始まります。

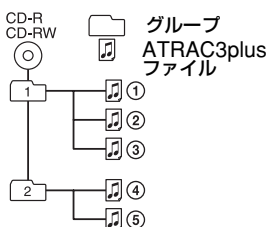
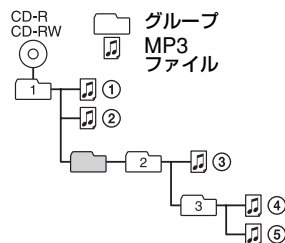
ATRAC3plusやMP3 CDのファイル構造

ATRAC CDは、「ファイル」と「グループ」から成り立つ、非常に簡単な構造になっています。「ファイル」は音楽CDの「曲」に相当し、「グループ」はファイルを束ねたもので、音楽CDの「アルバム」に相当します。グループの中にグループを作ることはできません。
MP3ファイルが記録されたCDでも、「ファイル」は「曲」に、「フォルダ」は「グループ」に相当します。本機では、MP3のフォルダも「グループ」と認識し、同じ操作で使用できます。

ATRAC3plusやMP3 CDの構造と再生順

ATRAC CDでは、SonicStageで選んだ曲順に再生されます。
MP3 CDでは、書き込みの方法によって再生の順番が異なる場合があります。また、MP3ファイルを含まないグループはとばして再生します。再生するMP3ファイルの順番を記載した「プレイリスト」も再生できます。下記MP3 CDの例では、①から⑤の順にファイルが再生されます。

•ATRAC3plus

•MP3

使用できるグループ数とファイル数
•最大グループ数：255
•最大ファイル数：999

使用できるグループ数とファイル数
•最大グループ数：100
•最大ファイル数：400
•最大階層：8

ちょっと一言
- 本機では、グループ名とファイル名はATRAC CD では62文字、MP3 CDでは28文字まで表示できます。
- 本機で表示できるATRAC CD/MP3 CDの文字は以下の通りです。
  – A～Z
  – a～z
  – 0～9
  – ! “ # $ % & ‘ ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ] ^ _ ` { l } ~
  上記以外の文字は「–」と表示されます。

ご注意
- ATRAC3plus/ATRAC3とMP3ファイルが混在したディスクはATRAC3plus/ATRAC3ファイルだけが再生されます。
- ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。

ATRAC CDについて
- ATRAC3plusファイルを書き込んだディスクは、パソコンのドライブでは再生できません。

MP3 CDについて
- プレイリストファイルに使える文字は半角英数のみです。
- MP3ファイルには、「mp3」の拡張子を付けてください。ただし、MP3以外のファイルに「mp3」の拡張子を付けると、そのファイルは正しく認識されません。
- 本機で再生できるビットレートは16～320 kbps、サンプリング周波数は32/44.1/48 kHzです。また、可変ビットレート(VBR)にも対応しています。
- MP3ファイルに圧縮するとき、圧縮ソフトの設定は「44.1 kHz」、「128 kbps」の「固定」を推奨します。
- 最大容量まで記録する場合は、書き込みソフトで「追記禁止」の設定をしてください。
- 未使用のCD-R/CD-RWディスクに最大容量まで1回で記録する場合は、書き込みソフトで「Disc at Once（ディスクアット ワンス）」の設定をしてください。
- ATRAC3plus/ATRAC3/MP3の記録されているディスクには、それ以外のフォーマットのファイルや不要なフォルダを書き込まないでください。

ラジオを聞く

準備➡「接続する」（18、19ページ）をご覧ください。

1

TUNER
AUTO PRESET
BAND

TUNER BAND•AUTO PRESET(リモコンではBAND)ボタンを押してFM (TV)、またはAMを選ぶ。

ボタンを押すと自動的に電源が入り、「FM (TV)」または「AM」が出ます。切り換えるときは、もう一度押します。

表示窓

FM 76.0MHz

2

TUNING+またはTUNING－ボタンを押したままにし、数字が動き始めたら指を離す。

放送局を自動的に受信して止まります。聞きたい放送局を受信するまでこの操作を繰り返すか、自動で受信できなかったときは、TUNING+またはTUNING－ボタンを繰り返し押して、聞きたい局の周波数に合わせます。

FMステレオ受信のとき出る

FM 81.3MHz ST

その他の操作

こんなときは	操作
音量を調節する	VOLUMEつまみを回す。（リモコンではVOL ＋*、－ボタンを押す。）
電源を入/切する	I/⏻ボタンを押す。

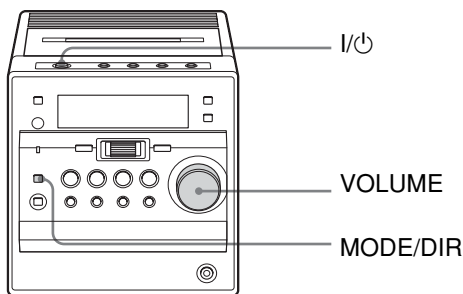
* 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

受信状態をよくする

FM(TV1～3CH)放送のとき

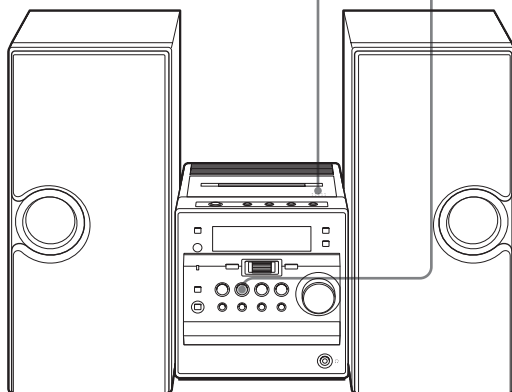
アンテナを窓の近くなど受信状態のよい場所に、できるだけ水平にまっすぐ伸ばす（18ページ）。

AM放送のとき

ループアンテナの向きを変えて、最も受信状態の良い方向へ向ける（18ページ）。

ちょっと一言

- 本機では、FMステレオ放送のみステレオで聞くことができます。AM、TV1～3CHのステレオ放送はモノラルになります。
- FMステレオ放送の雑音が多いときは、MODE/DIR（リモコンではMODE）ボタンを押して、表示窓に「Mono」を出します。音はモノラルになります。
- よく聞く放送局は、あらかじめ記憶させておくと便利です（プリセット）。プリセットについて、詳しくは42ページをご覧ください。

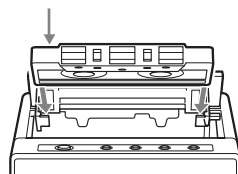
ここだけ読んでも使えます

テープを聞く —TYPE I(ノーマル)テープ専用

準備➡「接続する」(18、19ページ)をご覧ください。

1

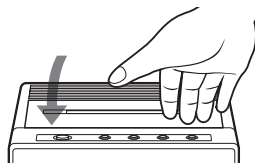
⏏PUSH OPEN/CLOSE

⏏PUSH OPEN/CLOSEを押してカセットぶたを開け、カセットを入れる。

聞きたい面を上に

2

⏏PUSH OPEN/CLOSE

⏏PUSH OPEN/CLOSEを押してカセットぶたを閉める。

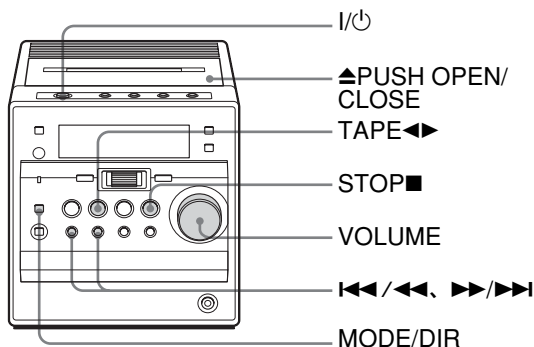
3

TAPE

TAPE◀▶(リモコンでは◀▶)ボタンを押す。

自動的に電源が入り、再生が始まります。

表示窓

TAPE ›››

その他の操作

ちょっと一言

カセットぶたを開けると、走行方向は常に▷向きになります。

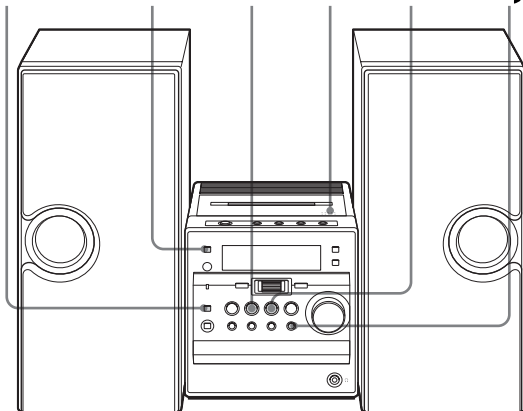
こんなときは	操作
音量を調節する	VOLUMEつまみを回す。（リモコンではVOL +*1、−ボタンを押す。）
再生を止める	STOP■（リモコンでは■）ボタンを押す。
反対面を再生する	再生中にTAPE◀▶*2（リモコンでは◀▶）ボタンを押す。
早送りや早戻しをする	▶▶/⏭または⏮/◀◀ボタンを押す。
カセットを取り出す	≜PUSH OPEN/CLOSEを押す。
電源を入/切する	I/⏻ボタンを押す。

*1 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
*2 ボタンの斜め上に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

走行の方法（ディレクションモード）を選ぶ

MODE/DIR（リモコンではMODE）ボタンを押すたびに、下のように切り換わります。

	表示窓
片面だけ再生する	⇄
両面を再生する	⇄)
両面を繰り返して再生する	(⇄)

テープに録音する －TYPE I(ノーマル)テープ専用

準備➡「接続する」(18、19ページ)をご覧ください。

MDなどへの録音➡「MDなどをつないで使う」(50ページ)をご覧ください。

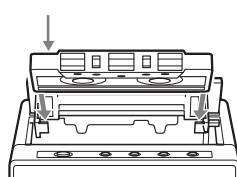
1

≜PUSH OPEN/CLOSE

≜PUSH OPEN/CLOSEを押してカセットぶたを開け、カセットを入れる。

TYPE I(ノーマル)テープをお使いください。

閉めるときも≜PUSH OPEN/CLOSEを押します。

録音を始める面を上に

2

録音する音源を選ぶ。

FUNCTION

TUNER
AUTO PRESET

CDを録音するとき
CDを入れる(22ページ)。
FUNCTIONボタンを繰り返し押して「CD」を表示させる。録音したい曲を選ぶ(34、35ページ)。

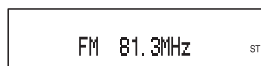
ラジオを録音するとき
録音する放送局を受信する(26ページ)。

表示窓

01　00:00

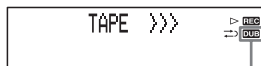
FM　81.3MHz　ST

3

REC

REC（リモコンでは●/II）ボタンを押す。

「REC」と「DUB」が表示され、テープデッキは録音待機状態になります。

TAPE ›››

▷ REC
⇄ DUB

曲の途中から録音する場合や、ラジオから録音する場合は「DUB」は表示されません。

4

MODE/DIR

「REC」が点滅している間に、MODE/DIR（リモコンではMODE）ボタンを押して、ディレクションモードを選ぶ。

⇄：片面に録音するとき

⇄Ↄ：両面に録音するとき

5

TAPE

TAPE◀▶（リモコンでは◀▶）を繰り返し押して、録音を始めたいテープの面を選ぶ。

両面録音、または上の面だけに片面録音するときは「▷」を表示させます。下の面だけに録音するには、「◁」を表示させます。

6

REC

RECボタンをもう一度押す。（リモコンでは●/IIボタンを押しながら◀▶ボタンを押す。）

CDが停止中にCDを録音するときは、8秒後に録音が始まります。

ラジオを録音するときは、すぐに録音が始まります。

次のページへつづく

その他の操作

こんなときは	押すボタン
録音を途中で止める	STOP■（リモコンでは■）
録音を一時止める*	録音中にREC（リモコンでは●/II） もう一度押すと録音が始まる。
電源を入/切する	I/⏻

* 「DUB」が表示されているときは、録音を一時止めることはできません。

曲の途中から録音する

1 録音したいところでCDの再生を一時停止にする。
2 31ページの手順3～6を行う。
録音はすぐに始まります。
3 CD▶IIを押してCDの再生を再開する。

テープに録音した音を消去する

1 音を消したいカセットを、消したい面を上にして入れる。
2 RECボタンを2回押す。
リモコンでは、●/IIボタンを押しながら◀▶ボタンを押します。

ちょっと一言

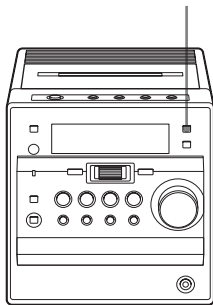
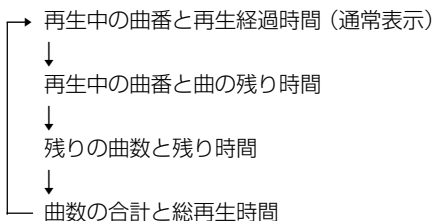
- （「DUB」が表示されているとき）
⇄を選んで録音すると、曲の途中で上の面が終っても、下の面にその曲の頭から録音し直します。
⇆を選んで録音すると、片面の最後まで録音し終えると、自動的にテープとCDの再生が停止します。
- 録音中に音量や音質を調節しても録音される音には影響ありません。ただし、音量が大きすぎると、音とびの原因となることがありますのでご注意ください。
- AM放送を録音するとき、手順6でRECボタンを押したあとピーという雑音が出ていたら、MODE/DIR（リモコンではMODE）ボタンを押して雑音が消える状態（ISS 1またはISS 2）を選んでください。
- CDの1曲だけを選んで録音するには、CDが停止しているときにMODE/DIR（リモコンではMODE）ボタンを押して「1」を表示させます。それから録音したい曲の頭出しをしてRECボタンを2回押します（リモコンでは、●/IIボタンを押しながら◀▶ボタンを押します）。

表示窓の見かた

DISPLAYボタンを繰り返し押して、CDの情報を確認することができます。

音楽CDの場合

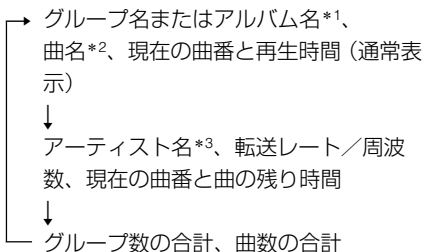
DISPLAYボタンを押すたびに、次のように表示が変わります。

→ 再生中の曲番と再生経過時間（通常表示）
↓
再生中の曲番と曲の残り時間
↓
残りの曲数と残り時間
↓
曲数の合計と総再生時間

ちょっと一言
CD-TEXTなど文字情報の入っているCDを演奏するとその情報が表示されます。

ATRAC CD/MP3 CDの場合

DISPLAYボタンを押すたびに、次のように表示が変わります。
ATRAC CDではSonicStageで入力した情報が表示されます。ID3タグ*入りのMP3 CDではID3タグの情報が表示されます。

* ID3タグとは、曲名、アルバム名、アーティスト名などの情報をMP3ファイルに追加するフォーマットのことです。本機はバージョン1.0/1.1/2.3に対応しています。
それ以外のバージョンをご使用になると、ID3タグの情報が正しく表示されません。バージョン2.3はunsynchronized、compressed、encrypted形式には対応していません。

→ グループ名またはアルバム名*[1]、曲名*[2]、現在の曲番と再生時間（通常表示）
↓
アーティスト名*[3]、転送レート／周波数、現在の曲番と曲の残り時間
↓
グループ数の合計、曲数の合計

*[1] ATRAC CD：アルバム名が記録されているときはアルバム名が表示されます。
MP3 CD：曲がグループに入っていないときは、「Root」と表示されます。ID3タグにアルバム名が記録されていればアルバム名が表示されます。

*[2] MP3 CD：ID3タグに曲名が記録されていれば表示されます。記録されていなければファイル名が表示されます。

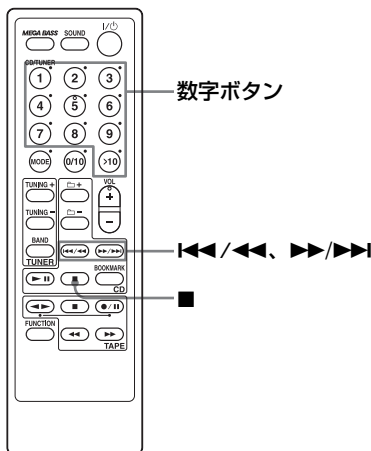
*[3] アーティスト名が記録されていないときは、「－－－－」と表示されます。

CD再生

聞きたい曲を選ぶ

（ダイレクト選曲/サーチ）

CDの聞きたい曲の再生を、リモコンの数字ボタンですぐに始めることができます。また、I◀◀/◀◀、▶▶/▶▶Iボタンで曲の中の聞きたい部分を探すこともできます。

選びかた/探しかた	操作のしかた
曲番で直接選ぶ（ダイレクト選曲）	曲番の数字ボタンを押す。
聞きながら探す（サーチ）	再生中にI◀◀/◀◀、▶▶/▶▶Iボタンを押したままにする。指を離すと、そこから再生されます。
表示窓の再生時間を見ながら探す（高速サーチ）	一時停止中にI◀◀/◀◀、▶▶/▶▶Iボタンを押したままにする。指を離すと、その位置で一時停止になります。

ご注意

- ATRAC CD/MP3 CDでは、選ばれているグループの中の曲だけダイレクト選曲できます。
- シャッフル再生（36、37ページ）、ブックマークトラック再生（37ページ）、m3uプレイリスト再生（38ページ）、プログラム再生（39ページ）のときは、 ダイレクト選曲はできません。
- ATRAC CD/MP3 CDをサーチするときに、数秒間音が聞こえなくなることがあります。

ちょっと一言

- 10曲目以降の曲を選ぶには、＞10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字ボタン（1〜0）を押します。
  例：23曲目を選ぶときは、＞10→2→3の順に押します。
- 10曲目は0/10ボタンで選ぶこともできます。
- 100曲目以降の曲を選ぶには、＞10ボタンを2回押したあと100の位の数、10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。

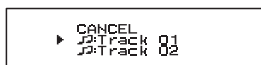
曲名から聞きたい曲を探す

ジョグダイヤル
(PUSH ENTER/
MEMORY)
FUNCTION

音楽CDの場合

1 本機がCDモードになっていない場合はFUNCTIONボタンを繰り返し押して、「CD」を表示させる。

2 ジョグダイヤルを回して聞きたい曲を選びジョグダイヤルを押して決定する。

CANCEL
▶ ♫:Track 01
♫:Track 02

選んだ曲の再生が始まります。

途中で中止する

ジョグダイヤルを回して「CANCEL」を表示させ、ジョグダイヤルを押します。

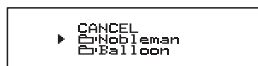
ATRAC CD/MP3 CDの場合

1 本機がCDモードになっていない場合はFUNCTIONボタンを繰り返し押して、「CD」を表示させる。

2 停止中にジョグダイヤルを回してグループを選びジョグダイヤルを押して決定する。

CANCEL
▶ 🗀:Nobleman
🗀:Balloon

3 ジョグダイヤルを回して聞きたい曲を選びジョグダイヤルを押して決定する。

🗀:
▶ ♫:roundela
♫:ardor

選んだ曲の再生が始まります。

途中で中止する

1 上記手順2のあとでは、ジョグダイヤルを回して「🗀：」を表示させ、ジョグダイヤルを押す。
グループを決定する前の場合はそのまま次の手順に進んでください。
2 ジョグダイヤルを回して「CANCEL」を表示させ、ジョグダイヤルを押す。

ちょっと一言

再生中に、再生している曲とは別のグループの曲を探すこともできます。ジョグダイヤルを回して「🗀：」を表示させ、ジョグダイヤルを押して決定します。それからジョグダイヤルを回して、グループ → 曲の順に選びます。

ご注意

ATRAC CDでは、曲名が400曲まで、グループ名は100グループまで表示可能です。それ以上になると、ファイル名やグループ名の代わりに「401– – – – –」または「101– – – – –」が表示されます。

いろいろな再生方法（プレイモード）で楽しむ

再生方法（プレイモード）をかえて、好きな曲だけを聞いたり、順番を並べかえて聞くことができます。プレイモードと詳しい操作については36、37ページの一覧表とそれぞれの説明をご覧ください。
また、選んだプレイモードを繰り返して聞くこともできます。詳しくは40ページをご覧ください。

CDの停止中に操作してください。

1 **本機がCDモードになっていない場合はFUNCTIONボタンを繰り返し押して、「CD」を表示させる。**

2 **MODE/DIRボタンを繰り返し押して希望のプレイモードを表示させる。**

3 **CD▶❚❚ボタンを押す。**
選んだプレイモードで再生が始まります。

通常再生に戻す

再生を停止させてから、プレイモードの表示が消えるまでMODE/DIRボタンを繰り返し押します。

プレイモード一覧

ATRAC CD/MP3 CD

「ブックマークトラック再生」と「m3uプレイリスト再生」は、あらかじめ設定した場合のみ選べます。

表示（プレイモード）	再生のしかた
表示なし（通常再生）	CDに録音されている全曲を、曲番順に1回再生します。
🗀（グループ再生）	選んだグループの全曲を再生します。他のグループを選ぶときは、🗀+または🗀–ボタンを押して、希望のグループを表示させてからCD▶❚❚ボタンを押します。
1（1曲再生）	現在再生中の曲だけを1回再生します。⏮/◀◀または▶▶/⏭ボタンを押して、希望の曲を表示させてからCD▶❚❚ボタンを押します。
SHUF（シャッフル再生）	CDに録音されている全曲を、順不同に1回再生します。
🗀 SHUF（グループ内シャッフル再生）	選んだグループの全曲を順不同に1回再生します。
Bookmark（ブックマークトラック再生）	ブックマークを付けた好きな曲だけを再生します。ブックマークの付けかたについて、詳しくは37ページをご覧ください。
（m3uプレイリスト再生）	選んだm3uプレイリスト*の曲を再生します（MP3 CDのみ）。m3uプレイリストについて、詳しくは38ページをご覧ください。
PGM（プログラム再生）	CDの曲を最大20曲まで好きな曲順に並べかえて再生します。操作について、詳しくは39ページをご覧ください。

* m3uプレイリストは、再生するMP3ファイルの順番をあらかじめ記載したファイルのことです。m3uフォーマット対応のエンコードソフトウェアでCD-R/RWを作成したときに使用できます。

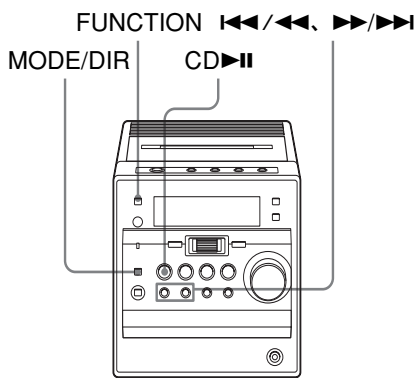
音楽CD

「ブックマークトラック再生」は、あらかじめ設定した場合のみ選べます。

表示（プレイモード）	再生のしかた
表示なし（通常再生）	CDに録音されている全曲を、曲番順に1回再生します。
1（1曲再生）	現在再生中の曲だけを1回再生します。⏮/◀◀または▶▶/⏭ボタンを押して、希望の曲を表示させてからCD▶⏸ボタンを押します。
SHUF（シャッフル再生）	CDに録音されている全曲を、順不同に1回再生します。
Bookmark（ブックマークトラック再生）	ブックマークを付けた好きな曲だけを再生します。ブックマークの付けかたについて、詳しくは37ページをご覧ください。
PGM（プログラム再生）	CDの曲を最大20曲まで、好きな曲順に並べかえて再生します。操作について、詳しくは39ページをご覧ください。

ちょっと一言

シャッフル再生中は⏮/◀◀ボタンを押して前の曲に戻すことはできません。

好きな曲だけを選んで聞く（ブックマークトラック再生）

1 **ブックマークを付けたい曲を再生し、CD▶⏸ボタン（リモコンではBOOKMARKボタン）を2秒以上押す。**

「Bookmark Set」と表示されます。登録されると「」の点滅がゆっくりになります。

2 **手順1を繰り返してブックマークを付けていく。**

音楽CDでは、99曲まで、ATRAC CDでは、1枚のCDにつき最大999曲まで、MP3 CDでは、1枚のCDにつき最大400曲までブックマークを付けられます。

3 **停止中にMODE/DIRボタンを繰り返し押して「 Bookmark」を表示させる。**

4 **CD▶⏸ボタンを押す。**

ブックマークを付けた曲が再生されます。

次のページへつづく

CD再生

いろいろな再生方法（プレイモード）で楽しむ（つづき）

ブックマークを消す

ブックマークを消したい曲を再生し、CD▶II ボタン（リモコンではBOOKMARKボタン）を2秒以上押します。「Bookmark Cancel」と表示されます。

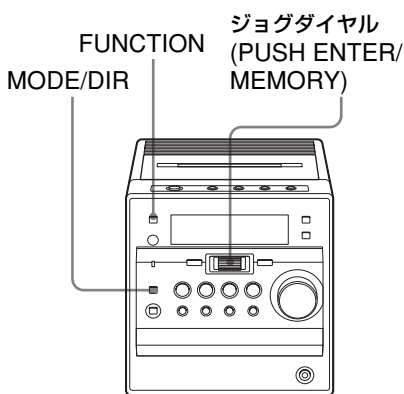
ブックマークの付いている曲について

ブックマークトラック再生中は、I◀◀/◀◀または▶▶/▶▶Iボタンを押すとブックマークの付いている曲の頭出しができます。それ以外のプレイモードのときは、ブックマークの付いている曲は「✓」がゆっくり点滅します。

ご注意

- ブックマーク演奏では、ブックマークを付けた順番には関係なく、曲番の小さいほうから演奏されます。
- CDトレイを開けるとブックマークの記憶はすべて消えます。
- 数字ボタンでは、ブックマークを付けた曲を直接選ぶことはできません。

選んだプレイリストの曲を聞く（m3uプレイリスト再生）（MP3 CDのみ）

MP3 CDの停止中に操作してください。

1 本機がCDモードになっていない場合はFUNCTIONボタンを繰り返し押して、「CD」を表示させる。

2 MODE/DIRボタンを繰り返し押して「▣」を表示させる。

3 ジョグダイヤルを回して聞きたいプレイリストを選びジョグダイヤルを押して決定する。

リモコンでは

1. FUNCTIONボタンを繰り返し押して、「CD」を表示させる。
2. 停止中にMODEボタンを繰り返し押して「▣」を表示させる。
3. I◀◀/◀◀または▶▶/▶▶Iボタンを押して聞きたいプレイリストを選び、▶IIボタンを押す。

プレイリストファイルについて

本機で使用できるプレイリストファイルは、テキストエディターなどで作成できます。音楽ファイルのパス（保存場所とファイル名）を演奏順に記述し、拡張子を「m3u」（大文字でも可）にしてディスクに記録します。

ご注意

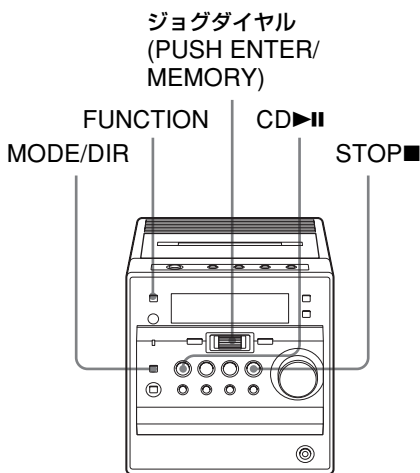
- パスの区切りに使用できるのは「¥」、「\」のみです。
- プレイリストファイルには、半角英数字を使用してください。

プレイリストの例

プレイリストが記録されているメディアのルートからのパスを入力します。
例：
¥Music¥Popular¥New¥01new.mp3
¥Music¥Popular¥New¥May¥may01.mp3

- 本機では最大2個までのプレイリストファイルを認識します。
- 本機では1つのプレイリストファイルで最大128曲まで認識します。
- 本機では、プレイリスト内の1行は、フォルダ名、ファイル名とも、28文字まで表示できます。
  例：¥ABC¥XYZ¥TEST.MP3
  ↓ ↓
  28文字以下 28文字以下

聞きたい曲を好きな順に聞く（プログラム再生）

CDの停止中に操作してください。

1 **本機がCDモードになっていない場合はFUNCTIONボタンを繰り返し押して、「CD」を表示させる。**

2 **MODE/DIRボタンを繰り返し押して「PGM」を表示させる。**
「PGM」はプログラムしている間点滅しています。

3 **ジョグダイヤルを回して聞きたい曲番を選び、ジョグダイヤルを押して決定する。**
この操作を順番に繰り返します。

（音楽CDの場合）

（ATRAC CD/MP3 CDの場合）

ATRAC CD/MP3 CDで他のグループの曲を選ぶときは、🗀+または🗀–ボタンを押してグループを選んでから、曲を選びます。

4 **CD▶IIボタンを押す。**
プログラムした順に再生が始まります。

リモコンでは

1 FUNCTIONボタンを繰り返し押して、「CD」を表示させる。
2 MODEボタンを繰り返し押して「PGM」を表示させる。
3 数字ボタン、または**I◀◀/◀◀、▶▶/▶▶I**ボタンを押して聞きたい曲番を聞きたい順番に選ぶ（ATRAC CD/MP3 CDで他のグループの曲を選ぶときは、🗀+または🗀–ボタンを押してグループを選んでから、曲を選ぶ）。
4 **▶II**ボタンを押す。

曲順を確認する

再生を始める前にジョグダイヤルを押します。ジョグダイヤルを押すたびにプログラムした順で曲番が表示されます。

次のページへつづく

プログラムを変更する

再生を始める前に変更します。STOP■ボタンを押してプログラムをすべて消します。初めからプログラムをし直してください。

ちょっと一言

- プログラム再生が終わっても、CDトレイを開けない限りは、作ったプログラムは残っています。CD▶IIボタンを押すと同じプログラムをもう一度聞くことができます。
- 作ったプログラムをテープに録音することができます。カセットを入れ、「テープに録音する」（30ページ）の手順に従って録音します。

繰り返し聞く（リピート再生）

1 本機がCDモードになっていない場合はFUNCTIONボタンを繰り返し押して、「CD」を表示させる。

2 聞きたいプレイモードで再生を始める（36〜40ページ）。

3 REPEATボタンを押して「↺」を表示させる。

選んだプレイモードで繰り返し再生されます。

リピート再生をやめる

REPEATボタンを押して「↺」を消します。

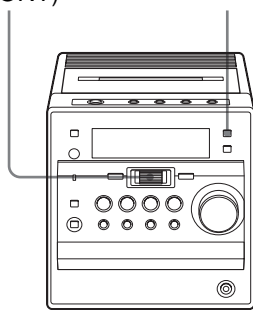
ちょっと一言

停止中でもリピート再生にすることができます。REPEATボタンを押して「↺」を表示させます。そのあとCDを再生します。

リジューム再生の設定を変える

本機は、CDの再生を一度止めても、次に再生したときに止めたところから再生が始まるように設定してあります（リジューム再生ON）（23ページ）。
リジューム再生の設定を変えて、常に最初の曲の頭から再生するように設定することもできます。

ジョグダイヤル
(PUSH ENTER/
MEMORY)

DISPLAY

1 電源を切った状態でDISPLAYボタンを押す。

2 ジョグダイヤルを回して「CD RESUME OFF」を選ぶ。

「OFF」が点滅します。

MENU
CD RESUME:OFF
CONTRAST :26

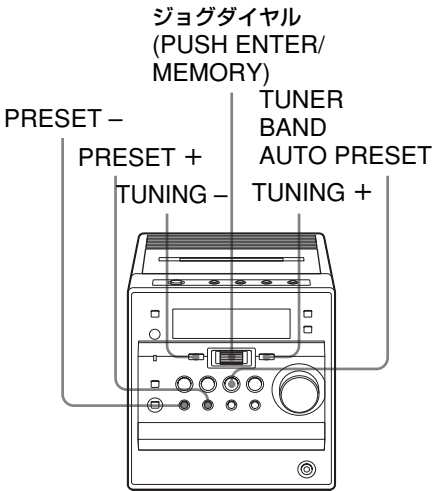
3 ジョグダイヤルを押して決定する。

時計表示に戻るにはもう一度ジョグダイヤルを押します。

リジューム再生ONに戻す

手順2でジョグダイヤルを回して「CD RESUME ON」を選び、ジョグダイヤルを押して決定します。もう一度ジョグダイヤルを押すと時計表示に戻ります。

放送局を記憶させる

受信状態の良い放送局を自動的に記憶させ、次からは記憶させた番号（プリセット番号）でその局を選ぶことができます。FM20局、AM10局で、合計30局まで記憶できます。

1 TUNER BAND•AUTO PRESETボタンを押して、FM (TV)またはAMを選ぶ。

2 「Auto Preset」が点滅するまで、TUNER BAND•AUTO PRESETボタンを押したままにする。

3 ジョグダイヤルを押す。

プリセット番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局だけが自動的に記憶されます。

電波が弱くオートプリセットで記憶できなかった局を記憶させる、またはプリセット番号を選んで記憶させる

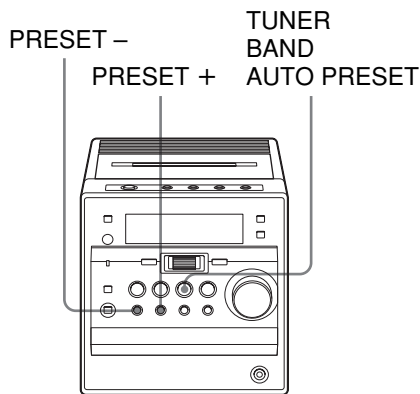
1. TUNER BAND•AUTO PRESETボタンを押して、FM (TV)またはAMを選ぶ。
2. TUNING +またはTUNING –ボタンを押して、記憶させたい放送局を受信させる。
3. ジョグダイヤルを約2秒間押したままにして、プリセット番号と周波数を点滅させる。
4. PRESET ＋またはPRESET –ボタンを繰り返し押して、記憶させたいプリセット番号を表示させる。
5. ジョグダイヤルを約2秒間押したままにする。

リモコンでは

1. BANDボタンを押して、FM (TV)またはAMを選ぶ。
2. TUNING +またはTUNING –ボタンを押して、記憶させたい放送局を受信させる。
3. 記憶させたいプリセット番号の数字ボタンを約2秒間押したままにする。

   プリセット番号が10番以降の場合は>10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。1の位の数のボタンを押すときは、約2秒間押してください。
   10曲目は0/10ボタンで選ぶこともできます。
   例：プリセット番号12の場合は、>10→1の順に押したあと、2を約 2 秒間押します。

記憶させた放送局を聞く（プリセット選局）

あらかじめ記憶させておいた放送局を簡単に選ぶことができます。

1 TUNER BAND•AUTO PRESETボタンを押して、FM (TV)またはAMを選ぶ。

2 PRESET ＋またはPRESET –ボタンを押して聞きたい局のプリセット番号を選ぶ。

リモコンでは

1 BANDボタンを押して、FM (TV)またはAMを選ぶ。

2 数字ボタンを押して聞きたい局のプリセット番号を選ぶ。

プリセット番号が10番以降の場合は>10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。

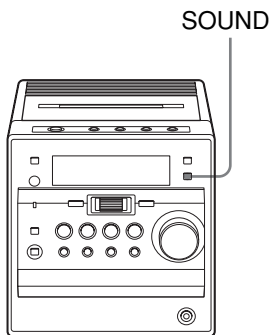
例：プリセット番号12の場合は、>10→1→2の順に押します。

ラジオ

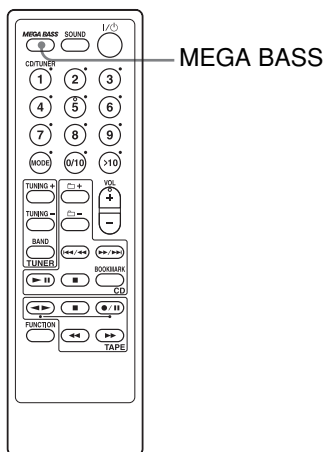
好みの音質で聞く

音楽や聞きかたに合わせ、音質の設定を変えて臨場感のある音を楽しむことができます。

サウンド効果を楽しむ

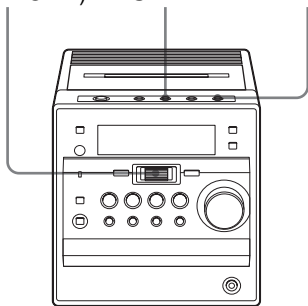
SOUNDボタンを押す。
ボタンを押すごとに表示が切り換わります。
希望の音質を選んでください。

表示	音質
	ロックなどに。 重低音と高音域を増強し、メリハリのきいた迫力のサウンドになります。
	ポップスなどに。 中、高音域を強調し、軽やかで明るい感じになります。
	ジャズなどに。 低音をはっきりさせ、ずっしりとした音質になります。
	ボーカルを聞きたいときに。中音域が強調され、ボーカルをきわだたせます。
	クラシックなどに。 ダイナミックレンジの広い音楽を聞くときに適しています。

迫力ある重低音を楽しむ

リモコンのMEGA BASSボタンを押して「MEGABASS」を表示させる。

通常の音に戻すには、もう一度MEGA BASSボタンを押します。

音楽で目覚める

（目覚ましタイマー）

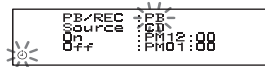
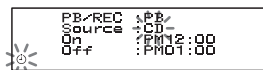
タイマー機能を使って、好きなCDやラジオの音を目覚まし代わりにすることができます。本機の時計を合わせてから操作してください（20ページ）。

表示窓に「⏻」が出ていたら、STANDBYボタンを押して消します。

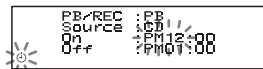
1 聞きたい音源の準備をする。

音源	準備
CD	CDを入れる。
テープ	カセットテープを入れる。
ラジオ	プリセット受信する。
LINE	LINE INにつないだ機器の電源を入れる（50ページ）。

2 TIMERボタンを押す。

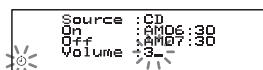
このあと、表示窓で確認しながら設定していきます。

3 ジョグダイヤルを回して「PB」を選び、ジョグダイヤルを押して決定する。

4 ジョグダイヤルを回して聞きたい音源（「CD」、「TAPE」、「TUNER」、「LINE」）を選び、ジョグダイヤルを押して決定する。

5 再生を始める時刻を設定する。

① ジョグダイヤルを回して「時」を合わせ、ジョグダイヤルを押して決定する。

② ジョグダイヤルを回して「分」を合わせ、ジョグダイヤルを押して決定する。

6 同じように再生を止める時刻を設定する。

7 ジョグダイヤルを回して希望の音量を表示させる。

次のページへつづく

音楽で目覚める（目覚ましタイマー）（つづき）

8 STANDBYボタンを押す。

「⏲」が表示され予約待機状態になります。設定した時刻になると自動的に再生が始まり、終了時刻になると電源が切れ、再び予約待機状態に戻ります。

予約した内容を確かめたり、変更する

1 TIMERボタンを押す。
 予約内容が表示されます。
2 TUNING +またはTUNING –ボタンを押して、変更したい項目を点滅させる。
3 ジョグダイヤルを回して内容を選び直す。
4 TIMERボタンを押す。
 「⏲」が表示され、予約待機状態に戻ります。

予約したあとで他の音源を聞く

電源を入れれば、通常の操作ができます。
ラジオで、タイマー予約した放送局とは別の放送局を受信した場合は、電源を切る前に希望の放送局を受信し直します。
予約した時刻になる前に電源を切ります。電源を切っておかないとタイマー機能は働きません。

タイマー再生を途中で止める

I/⏻ボタンを押して電源を切ります。

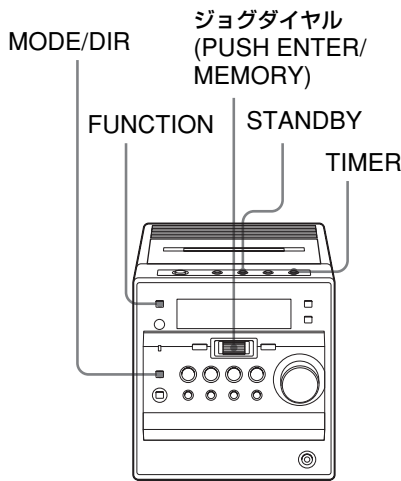
ちょっと一言

- 予約待機状態を取り消すには、STANDBYボタンを押して、表示窓の「⏲」を消します。
- 予約内容は別の設定をしない限り保持されます。
- 再生中にSTANDBYボタンを押すと、電源が切れ、予約待機状態になります。

ご注意

目覚ましタイマーと録音タイマーは同時に予約できません。

タイマーを使って録音する *（録音タイマー）*

ラジオやつないだ機器の音を、タイマーを使って録音できます。留守中や深夜など、その場で録音できないときに便利です。
本機の時計を合わせてから操作してください（20ページ）。

操作の前に、表示窓に「⏲」が出ていたら、STANDBYボタンを押して消します。

1 録音したい音源の準備をする。

音源	準備
ラジオ	プリセット受信する。
LINE	LINE INにつないだ機器の電源を入れる（50ページ）。

2 録音用のテープを入れる。

テープは上の面から録音されます。録音したい面を上にして入れてください。

3 FUNCTIONボタンを押して「TAPE」を表示させる。

4 MODE/DIRボタンを押して、ディレクションモードを選ぶ。

⇆：片面に録音するとき

⇄：両面に録音するとき

5 TIMERボタンを押す。

このあと、表示窓で確認しながら設定していきます。

6 ジョグダイヤルを回して「REC」を選び、ジョグダイヤルを押して決定する。

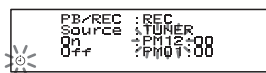
PB/REC :REC
Source :CD
On :PM12:00
Off :PM01:00

7 ジョグダイヤルを回して録音したい音源（「TUNER」か「LINE」）を選び、ジョグダイヤルを押して決定する。

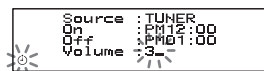
PB/REC :REC
Source :TUNER
On :PM12:00
Off :PM01:00

8 録音を始める時刻を設定する。

① ジョグダイヤルを回して「時」を合わせ、ジョグダイヤルを押して決定する。

PB/REC :REC
Source :TUNER
On :PM12:00
Off :PM01:00

② ジョグダイヤルを回して「分」を合わせ、ジョグダイヤルを押して決定する。

9 同じように録音を止める時刻を設定する。

10 ジョグダイヤルを回して希望の音量を表示させる。

11 STANDBYボタンを押す。

「⏻」と「REC」が表示され予約待機状態になります。設定した時刻になると自動的に録音が始まり、終了時刻になると電源が切れ、再び予約待機状態に戻ります。

予約した内容を確かめたり、変更する

1 TIMERボタンを押す。
予約内容が表示されます。

2 TUNING +またはTUNING –ボタンを押して、変更したい項目を点滅させる。

3 ジョグダイヤルを回して内容を選び直す。

4 TIMERボタンを押す。
「⏻」と「REC」が表示され、予約待機状態に戻ります。

予約したあとで他の音源を聞く

電源を入れれば、通常の操作ができます。
ラジオで、タイマー予約した放送局とは別の放送局を受信した場合は、電源を切る前に希望の放送局を受信し直します。
予約した時刻になる前に電源を切ります。電源を切っておかないとタイマー機能は働きません。

次のページへつづく

タイマーを使って録音する（録音タイマー）（つづき）

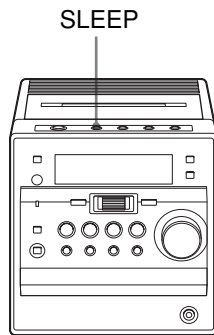
ちょっと一言

- AM放送を録音するとき、手順2のあとにRECボタンを2回押してみてピーという雑音が出ていたら、MODE/DIR（リモコンではMODE）ボタンを押して雑音が消える状態を選んでください（32ページ）。
- 予約待機状態を取り消すには、STANDBYボタンを押して、表示窓の「⏻」と「REC」を消します。
- 予約内容は別の設定をしない限り保持されます。
- 再生中にSTANDBYボタンを押すと、電源が切れ、予約待機状態になります。
- 深夜や留守のときにタイマー録音する場合は、あらかじめ音量を低く設定するか、ヘッドホンを🎧端子に差し込んでスピーカーから音が出ないようにします。
- ⇄を選んで録音すると、片面の最後まで録音し終えると、自動的に録音が停止します。間違えて上の面の録音を消してしまうことがありません。

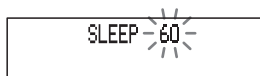
ご注意

録音タイマーと目覚ましタイマー（45ページ）は同時に予約できません。

音楽を聞きながら眠る（スリープタイマー）

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分、20分、30分、60分、90分、120分の中から選べます。音楽を聞きながら安心してお休みになれます。

1 **聞きたい音源の再生を始める。**

2 **SLEEPボタンを押して電源が切れるまでの時間（分）を選ぶ。**

押すたびに「60」→「90」→「120」→「OFF」→「10」→「20」→「30」と変わります。

SLEEPボタンを押してから約4秒間そのままにすると、そのとき表示されている時間に設定されます。
表示窓のバックライト照明が消え、スリープ時間がカウントダウンを始めます。
指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。

スリープ機能を途中で止める

SLEEPボタンを繰り返し押して「SLEEP OFF」を表示させます。

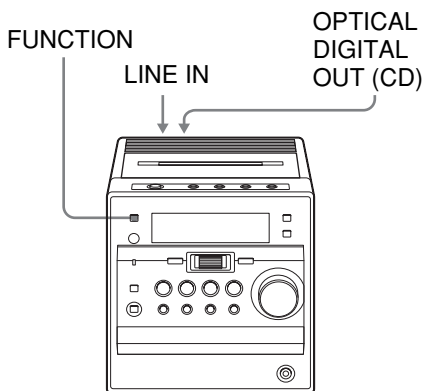
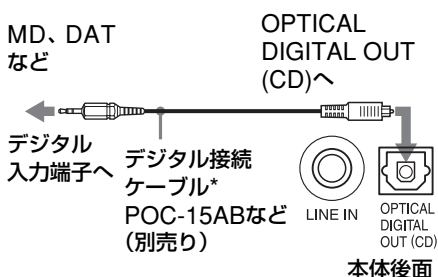
スリープ時間を変更する

手順2をやり直してください。

ちょっと一言

- 目覚ましタイマー（45ページ）とスリープタイマーを組み合わせて使うことができます。このときは、先に目覚ましタイマーを予約待機状態にしてから（45、46ページ）、電源を入れスリープタイマーをセットします。
- 目覚ましタイマーとスリープタイマーで違う音源を聞くことができます。
  ただし、異なる放送局を設定することはできません。
- 目覚ましタイマーとスリープタイマーで違う音量を設定できます。たとえば、小さい音量で眠り、大きな音量で目覚めることができます。

MDなどをつないで使う

音楽CDをMDに録音したり、ポータブルMDやテレビ、ビデオの音を本機のスピーカーで聞くことができます。他の機器と接続するときはそれぞれの機器の電源を切ってください。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

音楽CDをMDやDATに光デジタル出力で録音する

* 接続先のデジタル入力端子の形状によって、接続ケーブルが異なります。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。本機は角型光コネクターを採用しています。

接続する端子の形状	接続ケーブルの型名
光ミニプラグ（ポータブルMDなど）	POC-15AB
角型光コネクター（MD、DATデッキなど）	POC-15A

1 別売りのデジタル接続ケーブルを、接続する機器のデジタル入力端子と本機後面のOPTICAL DIGITAL OUT (CD)端子につなぐ。

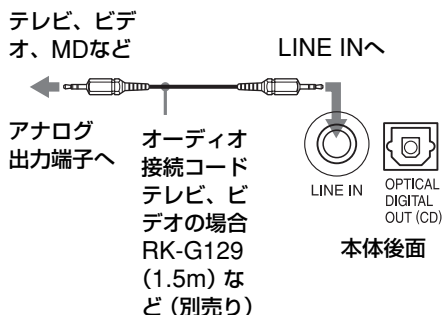
2 電源を入れる。

3 接続した機器を録音状態にする。

4 本機の音楽CDの再生を始める。

ご注意

ATRAC CD/MP3 CDを録音することはできません。

ポータブルMDやテレビ、ビデオなどの音を聞く

1 別売りの接続コードを、接続する機器の出力端子と本機後面のLINE IN端子につなぐ。

2 電源を入れる。

3 FUNCTIONボタンを押して「LINE」を表示させる。

これで接続した機器の音を本機のスピーカーで再生できます。

ご注意

音が大きすぎるときはつないだ機器の音量を調整してください。

ちょっと一言

つないだ機器の音を録音することができます。
手順3のあとで、デッキにカセットを入れ、RECボタンを2回押します（リモコンでは、●/❚❚ボタンを押しながら◀▶ボタンを押します）。

故障かな?と思ったら

本機をご使用中にトラブルが発生した場合は、サービス窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れにしたがってチェックしてみてください。

手順1　本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べる。
また、本書の手順の中にも、様々な情報があります。該当する項目を調べてください。

手順2
「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページで調べる。

http://www.sony.co.jp/support-pa/で調べる。
最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。

手順3　それでもトラブルが解決しないときは

お客さまご相談センターまたはお買い上げ店にご相談ください。

- 型名：CMT-A50
- 製造（シリアル）番号：記載位置については、別紙「カスタマー登録のご案内」をご覧ください。
- ご相談内容：
- 表示されたエラーメッセージ：
- トラブルが発生した状況：
- 使用したCD：
- 使用したテープ：

共　通

症状	チェック項目
音が出ない。	● I/⏻ボタンを押して電源を入れる。 ● 電源コードのプラグをコンセントにしっかり差し込む。 ● 音量を調節する。 ● スピーカーで聞くときは、ヘッドホンを🎧端子から抜く。 ● 「Reading」が消えるまで待つ。 ● 専用スピーカー接続コードをしっかりと差し込む。
雑音が入る。	● 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。 ➔ 携帯電話などを本機から離して使用する。

CD部

症状	チェック項目
CDが入っているのに「No Disc」が表示される。	● CDが裏返し ➔ 文字のある面を上にする。 ● CDの汚れがひどい ➔ クリーニングする。（57ページ） ● レンズに露（水滴）がついている ➔ CDを取り出してCDトレイを開けたまま数時間置く。 ● CD-R/CD-RWに何も記録されていない。 ● ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。 ● CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。 ● 著作権保護技術付音楽ディスクは、再生できない場合があります。（11ページ）
再生が始まらない。	● CDが入っていることを確認する。 ● CDの汚れがひどい ➔ クリーニングする。（57ページ） ● レンズに露（水滴）がついている ➔ CDを取り出してCDトレイを開けたまま数時間置く。
音がとぶ。 雑音が入る。	● CDによっては音がとぶことがあります。音量を下げてください。 ● CDの汚れがひどい。 ➔ クリーニングする。（57ページ） ● CDに傷がある。 ➔ CDを取り換える。 ● 振動のない場所に置く。 ● CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、再生された音がとんだり雑音が入ることがあります。

次のページへつづく

症状	チェック項目
「No File」が表示される。	• ATRAC ファイルやMP3ファイルが入っていないCD-R/CD-RWを再生しようとしている。

テープ部

症状	チェック項目
操作ボタンを押してもテープが動かない。	• カセットぶたをきちんと閉める。
RECボタンが動かない／テープが動かない。	• デッキに入れたカセットのツメが折れていたら、穴をセロハンテープなどでふさぐ（正しくふさがれていない場合は、「No Tab」が表示される）。（57ページ） • FUNCTIONボタンを押して「TAPE」を表示させる。
前の録音が完全に消えない。	• 消去ヘッドをクリーニングする。（57ページ） • TYPEII（ハイポジション）またはTYPEIV（メタル）テープはお使いになれません。TYPEI（ノーマル）テープをお使いください。
録音できない。	• カセットを正しく入れる（正しく入っていない場合は、「No Tape」が表示される）。 • デッキに入れたカセットのツメが折れていたら、穴をセロハンテープなどでふさぐ（正しくふさがれていない場合は、「No Tab」が表示される）。（57ページ）
雑音が多い。 音質がよくない。	• ヘッド、ピンチローラー、キャプスタンをクリーニングする。（57ページ） • ヘッドイレーサー・クリーナーを使ってヘッドを消磁する。（57ページ）
再生中に一時停止ができない。	• 録音中のみ一時停止ができます。

ラジオ部

症状	チェック項目
FM受信時、ステレオにならない。	• モノラルになっている。 ➔ MODE/DIRボタンを押して、「ST」を表示させる。（27ページ） • ステレオ放送のときのみステレオで聞くことができます。

症状	チェック項目
雑音が入る。	● FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。(27ページ) ● テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。 ● AM放送受信時にリモコンで操作すると、雑音が入ることがあります。 ● このラジオ(チューナー)のテレビ音声回路はFM放送の受信回路と兼用になっています。このため一部の地域ではテレビ2または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合にはお近くのサービス窓口にご相談ください。

タイマー(時計)部

症状	チェック項目
タイマーが働かない。	● 時計を正しい時刻に合わせる。(20ページ) ● 停電があった。 ● テープが終りまで巻き取られている。 ● 「⏻」表示が出ていることを確認する。(45、46ページ) ● タイマーの開始時刻と終了時刻が同じになっている。 ➔ 設定時刻を合わせ直す。

リモコン

症状	チェック項目
リモコンで操作ができない。	● リモコンの電池が消耗していたら、新しいものと交換する。(19ページ) ● リモコンを本体へ向けて操作する。 ● 本体とリモコンの間に障害物があったら、取り除く。 ● 本体リモコン受光部に強い光(直射日光や高周波点灯の蛍光灯など)が当たっていたら、当たらないようにする。

上記のチェック項目を確認しても動作が正常でないときは、電源コードをはずし、6時間以上そのままにし、その後に再び電源コードをつないでください。そのとき、時計やタイマーがお買い上げ時の設定になりますので、必要に応じて設定し直してください。

使用上のご注意

共　通

取り扱いについて

- 本機は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- 本機を本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険を避けるために、本機を水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。
- 本機と他の機器をつないで使う際は、接続コード類に足などを引っ掛けないようご注意ください。
- CDトレイを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機に付属のスピーカーは防磁型になっていますが、次のようなものはスピーカーの前面や側面に置かないでください。磁気が変化して不具合がおきることがあります。
  – 時計
  – クレジットカードなどの磁気カード
  – カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ

  また、テレビやモニターの画像が乱れる場合は、スピーカーを離してお使いください。

結露について

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

本体を持ち運ぶときのご注意

電源を切り、電源コードを抜いてください。

本体のお手入れのしかた

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、から拭きします。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

CD部

CDについて

本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

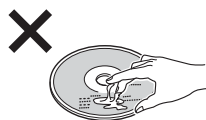
CDの取り扱いかた

- 文字の書かれていない面（再生面）に触れないように持ちます。
- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。

- 長時間再生しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとそりの原因になります。

こんなディスクは使わないでください

本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

- 中古やレンタルCDでシールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。
  また、ラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。

- レンタルCDでシールなどがめくれているもの。

- お手持ちのディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。

ラベルやシールを貼付したディスクは使わないでください。
次のような故障の原因となることがあります。
―ラベルやシールが本機内ではがれ、ディスクが取り出せなくなります。
―高温によってラベルやシールが収縮してディスクが湾曲してしまうため、信号の読み取りができなくなります。（再生できない、音とびがするなど）

CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

テープ部

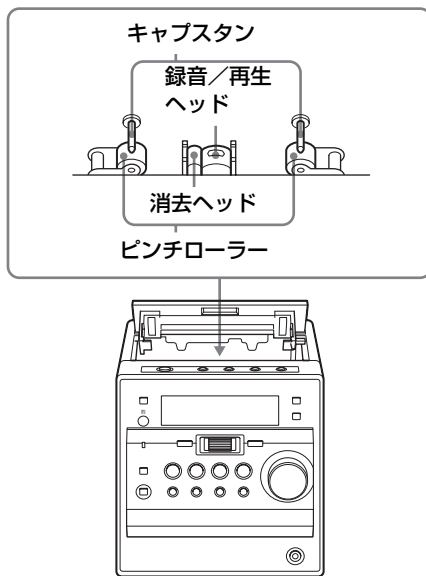
大切な録音を守る一誤消去防止

ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をセロハンテープなどでふさげば再び録音できます。

長時間テープをお使いのときは

90分を越えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープです。こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しなどを繰り返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

ヘッド部のクリーニング

長い間使っていると、ヘッドが汚れてきて音が悪くなったり、途切れたり、あるいは録音ができなくなったりすることがあります。よりよい音でステレオ録音、再生を楽しむために、10時間程度使ったら、市販の綿棒とクリーニング液でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。

録音/再生ヘッドの消磁

長い間使っていたり、録音/再生ヘッドに磁気を帯びたドライバーなどが触れたりすると、ヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をするとボソボソという雑音が入ります。このようなときは、市販のヘッド消磁器を使って録音／再生ヘッドを消磁してください。

主な仕様

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウフラッター	測定限界以下(JEITA*)
周波数特性	20～20,000 Hz+0/－1 dB (JEITA*)

チューナー部

受信周波数	FM/TV: 76 －108 MHz (1 － 3CH) AM: 531 － 1,629 kHz
アンテナ	FM: リードアンテナ AM: ループアンテナ

カセットデッキ部

トラック方式	4トラック2チャンネル
早巻き時間	約112秒(ソニーカセットテー プC-60使用)
周波数範囲	TYPE I(ノーマル)カセット 50 － 15,000 Hz

スピーカー部

型式	2 wayパッシブラジエータ型
使用スピーカー	トゥイーター： 直径40 mm防磁型 ウーハー： 130 mm パッシブラジエーター： 100 mm
最大外形寸法	約128×287×215 mm (幅×高さ×奥行き) (最大突起部を含む) (JEITA*)
質量	左スピーカー：約4.3 kg 右スピーカー：約2.2 kg
実用最大出力	20 W + 20 W (JEITA*/6 Ω)

共通部

出力端子	☊ (ヘッドホン)(ステレオミニジャック)1個 負荷インピーダンス 8～64 Ω 光デジタル出力(光角型出力コネクター)1 個 発光波長　630 – 690nm SPEAKER OUT (POWER IN)1個
入力端子	LINE IN(ステレオミニジャック)1個
電源	本体： 家庭用電源(AC100 V 50/60 Hz) リモコン部： 単4形乾電池　2個使用
消費電力	50 W
最大外形寸法	約136×151.8×204 mm (幅×高さ×奥行き) (最大突起部を含む) (JEITA*)
質量	約1.6 kg

別売りアクセサリー

ステレオヘッドホン
MDRヘッドホンシリーズ

本機はドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

保証書とアフターサービス

保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
なお、サービス（修理）を依頼されるときは、CMT-A50本体と電源部である左スピーカーユニットを、必ず一緒にお持ちください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンポーネントシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

アルファベット順

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

●ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ（http://www.sony.co.jp/support-pa/）

本機に関する最新サポート情報や、お問い合わせが多い質問とその回答をご案内しています。

●電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ（下記電話・FAX番号）

- 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]−[ホームオーディオ]です。
- お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  - ◆ セット本体に関するご質問時：
    - 型名：CMT-A50
    - 製造（シリアル）番号：記載位置は別紙「カスタマー登録のお願い」を参照
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日
  - ◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    - ソフトウェアのバージョン：
    - お使いのパソコン（メーカー名/型名）：
    - パソコンにインストールされているOS名：
    - メモリ容量／ハードディスクの空き容量：
    - CD-ROMドライブの型名／種類（外付けまたは内蔵）：
    - エラーメッセージ（エラーメッセージが表示された場合）：

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル ………… 0570-00-3311

（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311

（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX ……………………… 0466-31-2595

受付時間 ：月〜金 9:00〜20:00　土・日・祝日 9:00〜17:00

お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

パーソナルコンポーネントシステム
CMT-A50
T10-1001A-2

「お問い合わせ窓口のご案内」については、裏をご覧ください。

ソニー株式会社
〒141-0001
東京都品川区北品川6-7-35
Printed in China